

陳情書

本会議において一般質問、代表質疑を一問一答に徹底することを求め陳情する

陳	情
第 3	号



(件名)

本会議において一般質問、代表質疑を一問一答に徹底することを求め_る陳情

(趣旨)

前回「一問一答のお願い」を陳情させていただき、再質問の際は、一問一答をしていただけると聞き、市民の声を尊重してくださったことに大変感謝しております。

ただ、私共一般市民は、会期中全てを傍聴することはできません。

今は、本会議をネット生中継や録画中継しているので、パソコンやスマホを介して生活の合間に見ることができます。私などは、食事の支度や買い物の時など、イヤホンを利用します。三鷹市議会に実りある審議を願う私は、「一問一答制が、なぜ徹底されないのか」気づいたことがあります。

1. 一般質問、代表質疑を「登壇」して述べるため、一挙にまとめて発言しなければならない。もし登壇しなければ、「一問一答」の徹底が図れるのではないのでしょうか。イヤホンで中継を聴くと、一括に質問する方法は、登壇の意義が全く見出せません。また中継画面を見ながらですと、何も登壇であろうと自席からであろうと、議員の皆さん真剣な表情は、映像にちゃんと表れています。
2. 昨今の議場には、壇場を設けず質問台をおくとか、それすら置かず自席発言になっていると聞きます。今の議場の中で、登壇する意義と議論の活性化の方法を考えていただきたいです。
3. 「一問一答」が徹底されると、審議に緊張感が生まれて、給料もプライドも高い三鷹市幹部職員の「総合的に見て検討します」などと言うありきたり答弁の連発は、変化することが期待されます。また議員の側も、間髪を入れず再質問しなければならないため、今まで以上の質問精査をしなければ、官僚答弁に「ツッコミ」を入れることができません。

議員の皆さんは、私たち市民の代表です。未来を支える若い議員、女性議員が多く選出されました。昭和の時代とは全く異なる令和にふさわしい、21世紀の議会運営を目指してください。

令和2年2月20日

(あて先)

三鷹市議会議長 石井良司殿

(提出者)

住所 三鷹市

氏名 藤井 ルリ

電話